

柔道



中学校で 強くなるう!

柔道は心と体を鍛えるすばらしいスポーツです

学校に柔道部がなくても試合に参加する制度があります
保健体育の授業でも柔道が行われています



公益財団法人 全日本柔道連盟

佐賀県柔道協会

中学生は、心と体が一番成長する時期です

中学生になると、みなさんは一段と成長します。小学校時代に鍛えてきた心と体は、さらに強く大きくなります。中学校の3年間は、人生の中でも急激に伸びる時期だと言われています。これまでに身につけた技に磨きをかけ、花を開かせることができます。中学生になっても柔道を続け、さらに自分を輝かせましょう。



中学校には、たくさんの試合があります

一番大きい試合は、8月に行われる全国中学校柔道大会です。2018年は、広島県で開催されます(2019年は兵庫県)。試合は、男女別の団体戦・体重別個人戦(8階級)です。各都道府県で予選を行い、1位のチーム、個人が出場します。各都道府県の大会も、このカテゴリーに準じた試合内容・方法で実施されます。

男子団体戦：5人制

女子団体戦：3人制

男子個人戦：50kg、55kg、60kg、66kg、73kg、81kg、90kg、90kg超

女子個人戦：40kg、44kg、48kg、52kg、57kg、63kg、70kg、70kg超

それ以外にも、中体連(中学校体育連盟柔道部)主催の都道府県大会、地区大会に加え、地域や柔道連盟主催の大会、近代柔道杯など、たくさんの試合があります。中体連の試合は、学校単位の出場となりますが、マルちゃん杯など、道場単位で出場できる試合も多くあります。

試合だけではありません。柔道は、心と体を高めるすばらしい運動です。保健体育の授業でも、多くの学校で柔道が行われています(全国の約6割強の中学校)。柔道が続けていれば、授業でも活躍できます。

学校に柔道部がなくても試合に参加できる制度があります

残念ながら、全ての中学校に柔道部がある訳ではありません。どこの中学校に柔道部があるか知りたい人は、中体連の担当（右ページ参照）にお問い合わせください。

それ以外でも、中学校の柔道部について、分からないことや知りたいことがあったら、気軽に担当へ連絡してください。

自分の進学する中学校に柔道部がなかったとしても、がっかりすることはありません。今、道場などで柔道を習っているみなさんは、そこでの稽古を続けながら、中体連の公式試合に参加する仕組みが整っています。



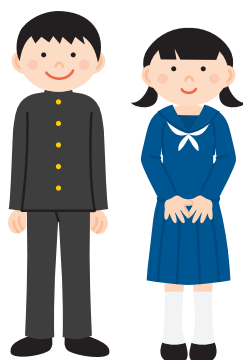
【保護者引率による公式試合参加の仕組み】

本来は、生徒が在籍する学校の教員が、監督となって生徒を引率して試合に臨みます。一方、中学校に柔道部がなくても、在籍する学校の校長が他校の教員に監督を依頼し、試合会場までの引率は外部指導者や保護者が行うことで、試合に参加できます。最近では、出場選手の1/3が保護者引率での参加という地区もあります。

教育委員会等が任用する地域のスポーツ指導者が、“部活動指導員”として指導に当たることが増えてきています。“部活動指導員”が部活動の顧問になれること（文部科学省省令 2017年3月）や、今後は監督として試合に引率ができるようになること等、部活動のあり方も変わってきています。

自分の学校以外で活動する生徒も増えています

地域によっては、柔道部のある中学校・高校や地域の団体が、近くに住む中学生を集めて活動しています。自分の学校に柔道部がない場合でも、いろいろな場所で活動する中学生が増えています。



中学校武道 Q&A

Q: 小学生の柔道と中学生の柔道は、どこが違うのですか？

A: 基本的には同じですが、運動量や技術のレベルは高くなります。心と体を鍛えるすばらしさは変わりありません。ただし、絞技が認められたり、後ろ襟を握ってもいい試合が増えたりなど、若干ルールが変わるところもあります。

Q: 中学校の柔道部に入ったら、道場をやめなければなりませんか？

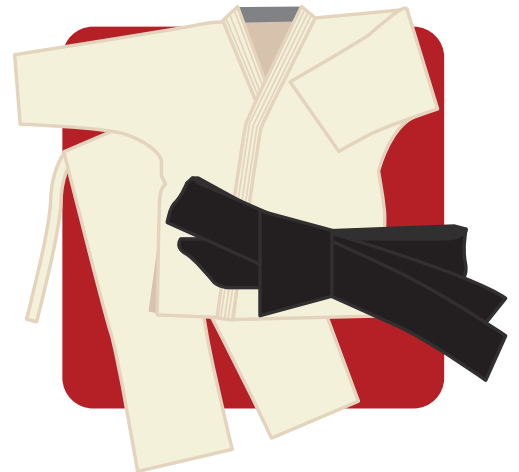
A: 通常の部活動は、多くの学校では放課後の4時頃から2時間程度の活動です。道場などの稽古との両立は可能です。ただし、全柔連登録はどちらか1カ所で行います。

Q: 初段は、いつ取れますか？

A: 中学2年生になったら、昇段審査を受けることができます。

Q: 初心者ですが、活動についていけますか？

A: 心配はいりません。どこの学校でも、初心者はたくさんいます。中学校に入学してから柔道始める人もたくさんいます。



Q: 女子でも柔道部に入れますか？

A: まったく問題ありません。小学生は男女混合の試合もありますが、中学生の試合は、原則として男女別です。現在も、たくさんの女子が部活動に励み、試合にも多く参加しています。

<問い合わせ先>

佐賀県中学校体育連盟柔道部

委員長

かねたけ いわお
兼武 巖

Mobile. 090-9584-0398

平成29年度 佐賀県中学校柔道部設置学校数及び全学年所属生徒数

地区	No.	学校名		男(人)	女(人)	学校連絡先
鳥栖・基山	1	基山町立 基山	中学校	10	5	0942-92-2203
三養基・神埼	2	みやき町立 中原	中学校	3	0	0942-94-2038
佐賀市	3	佐賀市立 昭栄	中学校	18	9	0952-24-4238
	4	佐賀市立 諸富	中学校	13	0	0952-47-2331
	5	佐賀市立 大和	中学校	15	8	0952-62-1315
	6	佐賀市立 鍋島	中学校	8	0	0952-30-5811
	7	佐賀市立 思斉	中学校	4	1	0952-68-2161
小城・多久	8	小城市立 三日月	中学校	18	6	0952-73-2016
	9	小城市立 芦刈	中学校	7	0	0952-66-0403
	10	小城市立 牛津	中学校	11	2	0952-66-0022
	11	小城市立 小城	中学校	4	0	0952-73-2191
	12	多久市立 東原摩舎	中央校	0	2	0952-74-3971
杵島・武雄	13	武雄市立 武雄	中学校	10	7	0954-22-4105
	14	大町町立 大町ひじり	学園	3	1	0952-82-3341
唐津・東松浦	15	唐津市立 第一	中学校	8	1	0955-73-2815
	16	唐津市立 鏡	中学校	3	0	0955-77-0500
伊万里・西松浦	17	伊万里市立 伊万里	中学校	17	0	0955-23-4185
	18	有田町立 有田	中学校	12	6	0955-43-2291
藤津・鹿島	19	鹿島市立 西部	中学校	16	0	0954-62-1211
	20	嬉野市立 嬉野	中学校	3	1	0954-43-0244
	21	嬉野市立 塩田	中学校	7	3	0954-66-2030
	22	太良町立 多良	中学校	9	0	0954-67-0222
	23	太良町立 大浦	中学校	5	1	0954-68-2029

平成29年度 柔道部がない学校に在籍し、町道場や社会体育で柔道に取り組んでいる全学年の生徒数

地区	No.	学校名		男(人)	女(人)	学校連絡先
鳥栖・基山	1	鳥栖市立 鳥栖西	中学校	1	1	0942-83-2086
	2	鳥栖市立 鳥栖	中学校	0	2	0942-83-2537
三養基・神埼	3	※神埼市立 神埼	中学校	0	1	0952-52-3175
	4	※みやき町立 北茂安	中学校	1	0	0942-89-2008
	5	吉野ヶ里町立 三田川	中学校	2	0	0952-52-2195
	6	吉野ヶ里町立 東脊振	中学校	2	1	0952-52-2529
	7	上峰町立 上峰	中学校	3	0	0952-52-3834
佐賀市	8	佐賀県立 致遠館	中学校	1	0	0952-33-0401
	9	佐賀市立 金泉	中学校	5	0	0952-98-1181
	10	佐賀市立 成章	中学校	2	0	0952-24-4265
	11	佐賀市立 芙蓉	中学校	1	0	0952-97-1171
	12	佐賀市立 東与賀	中学校	1	0	0952-34-7102
	13	佐賀市立 川副	中学校	2	2	0952-45-1251
小城・多久	14	多久市立 東原摩舎	東部校	2	1	0952-76-2007
	15	多久市立 東原摩舎	西溪校	1	0	0952-75-2826
杵島・武雄	16	白石町立 有明	中学校	5	0	0954-65-2127
	17	佐賀県立 武雄青陵	中学校	2	0	0954-22-3177
唐津・東松浦	18	唐津市立 湊	中学校	5	2	0955-79-0009
	19	唐津市立 海青	中学校	2	1	0955-82-0515
	20	唐津市立 浜玉	中学校	1	0	0955-56-6650

※神埼市立神埼中学校及び、みやき町立北茂安中学校は平成30年度入学予定生徒数です。

少柔協加盟団体（佐賀県）

No.	団体名	名前	電話	住 所			
1	尚柔会	柴田 美津子	0952227736	840-0021	佐賀市鬼丸町	9-30	大橋整骨院
2	至剛館	松本 剛儀	0952982779	849-0901	佐賀市久保泉町川久保	41501	
3	思斉館道場	福田 健一	0952686205	849-0202	佐賀市久保田町久富	3400-2	
4	佐賀武道会古賀道場	古賀 日出男	0952684628	849-0201	佐賀市久保田町徳万	814-5	
5	諸富少年柔道クラブ	山本 辰郎	0952473882	840-2104	佐賀市諸富町徳富	2065-1	
6	城南少年柔道クラブ	西村 照明	0952229182	840-0831	佐賀市松原	3-4-12	佐賀市松原3-4-12
7	佐賀少年柔道クラブ	鶴 敏春	0952241111	840-0041	佐賀市内1	無番地	警察道場内
8	精道館道場	杉野 光由	0952243291	840-0856	佐賀市新生町	2-1	
9	大和少年柔道クラブ	兵動 順彦	0952628851	840-0211	佐賀市大和町東山田	2837番地5	
10	大和町柔道協会	兵動 順彦	0952628851	840-0211	佐賀市大和町東山田	2837番地5	
11	鍋島少年柔道クラブ	原口 忠之	0952305811	849-0937	佐賀市鍋島	一丁目19-1	
12	兵庫少年柔道クラブ	古川 光	0952313262	849-0915	佐賀市兵庫町藤木	985-14	
13	学柔館	原田 堅一	08064014840	840-0841	佐賀市緑小路	1-1	佐賀工業高等学校
14	塩田少年柔道クラブ	深村 勉	09049842995	849-1421	嬉野市塩田町	大字真崎 828-2	
15	鹿島・藤津柔道クラブ	深村 勉	09049842995	849-1421	嬉野市塩田町真崎	828-2	
16	嬉友館	森 康裕	0954431345	843-0301	嬉野市嬉野町下宿乙	1090-2	
17	伊心館	古賀 良二	0955233144	848-0031	伊万里市二里町八谷搦	1169	伊万里警察署
18	三道会	坂本 了一	0954629866	849-1311	鹿島市高津原	無番地	鹿島市民武道館
19	芦刈少年柔道クラブ	江口 義幸	0952666522	849-0316	小城市芦刈町道免	363-1	
20	津武館	副島 一男	0952665593	849-0301	小城市牛津町乙柳	1033-7	
21	小城秀島道場	秀島 久夫	0952726767	845-0014	小城市小城町晴気	1302-2	
22	東多久少年柔道クラブ	合六 芳尚	09013416360	846-0012	多久市東多久町別府	4690	
23	多久クラブ少年柔道	南里 龍彦	0952756609	846-0002	多久市北多久町小侍	200番地3	
24	多久クラブ柔道	南里 龍彦	0952756609	846-0002	多久市北多久町小侍	200番地3	
25	鳥栖少年柔道会	大野 浩一	0942832048	841-0052	鳥栖市宿町	1248番地1	
26	鏡少年柔道クラブ	川原 保	0955774521	847-0022	唐津市鏡	1821	
27	呼子少年柔道教室	竹下 泰英	0955823024	847-0304	唐津市呼子町殿ノ浦	970-1	呼子警察署3F
28	外町少年柔道クラブ	野崎 靖之	0955723635	847-0824	唐津市神田	1754-2- 334	
29	唐津警察署少年柔道教室唐青館	吉田 和正	09031905590	847-0861	唐津市二タ子	3-1-5	唐津警察署生活安全課
30	武雄警察署少年柔道教室	池内 崇	0954289107	843-0023	武雄市武雄町昭和	6-5	
31	武雄市柔道協会	光武 則秋	0954289107	843-0023	武雄市武雄町昭和	6-5	
32	三田川柔道協会	古澤 均	0952524205	842-0033	神埼郡吉野ヶ里町豆田	1361-1	
33	有田警心館	大屋 隆	0955422201	844-0027	西松浦郡有田町南原	甲474-1	伊万里警察署 有田幹部派出所
34	大町柔道教室	南川 康弘	09030121513	849-2102	杵島郡大町町福母	2059番地1	カーサービオB
35	白石少年柔道クラブ	小野 力造	0952842874	849-1105	杵島郡白石町遠江	4263	
36	中原少年柔道クラブ	平野 忻二	0942944246	849-0101	三養基郡みやき町原古賀	/858-10	
37	北茂安道場	木下 信行	0942893095	849-0113	三養基郡みやき町東尾	420-1	
38	基山少年柔道クラブ	小野 龍雄	0942927963	841-0204	三養基郡基山町宮浦	666番地	基山町役場
39	太良少年柔道クラブ	松本 太	0954672077	849-1602	藤津郡太良町多良	1-6	

新しい教育と嘉納師範の教え

昨年3月、文部科学省から新学習指導要領が告示されました。その特徴は以下の三観点です。

- 生きて働く知識や技能を習得する
- 知識や技能を活用できる思考力・判断力・表現力を高める
- よりよい社会を作っていく、学びに向かう力や人間性を高める

人工知能（AI）の発達で、知識や技能をもっていれば事足りるという時代ではなくなってきています。想定外の事態にも対応できる、本当の人間力「自分達の力で考え、正しい方向に進む力」の育成が求められています。

この新しい教育の方向性は、柔道創始者である嘉納治五郎師範の説かれた「精力善用 自他共栄」と見事に重なってきます。「柔道の根本義は、精力の最善活用である」と説かれ、「精力善用」とは「善」のために心身の力を最も有効に働かせることであり、「善」とは「団体生活の存続発展を助くるもの」としています。団体生活とは社会生活であり、自分のもてる力を社会の発展のために使うことの大切さを教えています。この教えも学習指導要領の「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の部分に重なってきます。

最初の観点では、基礎的、基本的な知識や技能（＝「精力」）を高めます。二つ目の観点、知っていること・できることをどう使うかについては、「柔能く剛を制す」の言葉の通り、状況に応じて培った力を正しい方向に有効活用（＝「善用」）することの大切さを説いています（下図）。

観点の三つ目、よりよい人生を送る意欲と態度を身につけることに関して、嘉納師範は具体的に一步踏み込んでいます。即ち、人との関わり方の理想の形を「自他共栄」の言葉に表しています。柔道は、相手がいって初めて成り立つ競技です。相手が痛い思いをして投げられてくれるから自分は技を磨くことができます。だからこそ相手を尊重して礼の心を実践しなければなりません。自分のことだけを考えて相手を見下したり、怪我をさせたりしていたら、いくら試合で実績を上げてても周りには誰もいなくなってしまうでしょう。自分一人だけ栄えるという図式はありません。相手も一緒になって成長していくことが大切であり、それは柔道だけに限らず社会生活も「自他共栄」なくして発展はありません。つまり嘉納師範の教えは、「どのように・よりよい人生を送るか」という学校教育の最終目的と一致しています。

競技の世界では、ともすれば技能を高めれば十分と考えがちです。しかし、何のために柔道を修行するのかと言えば、単に強くなって優勝の栄冠を勝ち取ることがゴールではありません。人間としての成長こそ最終目標のはずです。成長した結果、おまけとして栄冠が向こうの方から転がり込んでくるのです。試合の勝利者を目指すこと以上に、人生の勝利者を目指すことが重要です。

嘉納師範の教えは、現在も輝きを失うことなく教育課題に正対しています。社会がどのように変化していても、よりよい教育への明確な指針となっています。柔道精神は即ち人間教育の精神であり、この精神の基本に正対し、柔道修行を通じた人間教育に邁進することが、子ども達の成長とよりよい社会作りにつながっていくのです。

（文責 杉並区立和田中学校 校長 田中裕之）

【学習指導要領と「精力善用・自他共栄」の関連】

